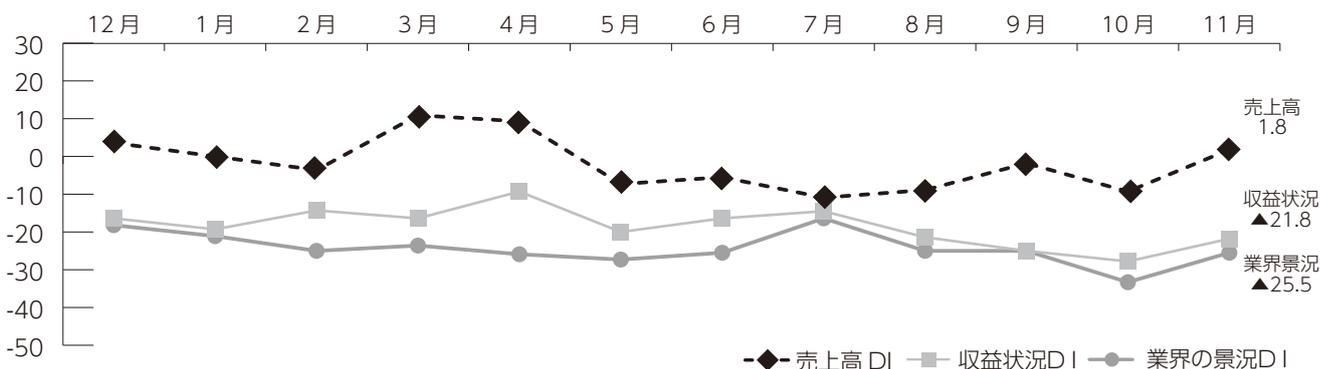


4月以来、売上高DIがプラス域へ

概況

業種によっては売上高に改善が見られ、4月以来、7ヵ月ぶりに売上高DIがプラスに転じた。しかし、不安定な為替変動が続く中で、原材料、光熱費、燃料費の高騰や人材確保に向けた賃上げ等のコスト負担増、それに対する適正な価格転嫁、利益確保等、課題は山積しており、先行きへの不透明感が強い状況が続いている。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
製造業	食料品	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☁	☀	☀	☁	☁	☀	☁	☁
	窯業・土石	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☁	☁	☁	☀	☁	☁
	その他	☀	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☀	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	小売業	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☀	☁	☁	—	☀	☁
	サービス業	☀	—	☀	☁	☁	—	☁	☁
	建設業	☁	—	☀	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☁	—	☀	☁	☁	—	☁	☁



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>【菓子】 注文が多く、人の動きも活発。平日は静かな時もあったが、全体的には忙しく、昨年並みの状況。</p> <p>【酒造】 各種類ともに売上数量は若干であるが増加している。</p>
織 維 製 品	<p>【織物】 各産地とも東京や京都の販売会、展示会に出展する等、積極的に動いている。厳しい状況下ではあるが、今後の売上増加に期待を寄せている。</p> <p>【刺繍】 景況感はあまり良くない。洋服に加え雑貨類の売上も振るわない状況が続いており、先行きへの不透明感が広がっている。</p>
窯業・土石	<p>【コンクリートブロック】 製品輸送では運転手不足が深刻化し、配送確保が困難な状況に加え、輸送費の上昇も課題となっており、配送手段の見直しが求められている。</p> <p>【生コンクリート】 出荷量の多くを占める中央地区、吾妻地区が大幅に伸びたことに加え、北部地区も増えたため、全体でも増加となった。</p> <p>【砕石】 公共事業の設計単価の一部見直しにより取引条件の改善が期待される一方、砕石を使用する案件や事業量が低迷しており厳しい経営状況が続く。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>【めっき】 受注低迷の傾向にあるとともに、人手不足に悩んでいる組合員が多い。</p> <p>【自動車関連（トラック）】 103万円の壁の見直しによりパートの有効活用拡大に期待。一方、トラック政権発足が輸出へ与える影響を不安視している。</p> <p>【機械金属】 材料費の高騰、光熱費、燃料費の高止まり、最低賃金の引上げ、103万円の壁の見直し等の影響により厳しい経営状況が続くことを懸念している。</p>
そ の 他	<p>【製材】 荷動きが低調な中で、各取引先からの値上げ要請が重なり、コストが上昇。さらに、人手不足が追い打ちをかけ、厳しい状況が続く。</p> <p>【家具】 売上や受注状況は、引き続き厳しい状況が続いている中で、為替変動の影響から輸入品や材料仕入コストの上昇を懸念している。</p> <p>【紙製品】 年末の最盛期に向けた動きが鈍い。得意先が価格転嫁や値上げを受け入れるケースはみられるものの、製品価格への転嫁は依然として厳しく、収益改善には至らない。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>【紙卸売】 価格改定により売上高は増加したものの、販売数量は前年より落ち込んでいる。</p> <p>【食品関連】 仕入値や運送費、エネルギーコスト、人件費が上昇する中で価格転嫁が難しく、収益を圧迫する厳しい状況が続いている。</p> <p>【再生資源】 古紙について、集団回収の集荷量は前年対比で減少傾向。輸出向け需要は新聞や雑誌が高いものの、段ボールは低調。</p>
小 売 業	<p>【石油】 燃料油激変緩和措置補助金の削減が決定し、12月以降の販売価格上昇が見込まれる。その影響で駆け込み需要が発生し在庫不足に陥る可能性を懸念。</p> <p>【生花】 イベント等がコロナ禍前に戻った一方で、花材や資材の高騰から収益状況は悪化。消費者の値上げに対する理解を得るには時間が必要と感じている。</p>
商 店 街	<p>【高崎市】 毎週末のイベントやイルミネーション、アートプロジェクトを実施した効果で、週末は街中に大きな活気が見られた。</p> <p>【沼田市】 大売出しを開催し、キッチンカー出店や地元中学生のボランティアによるイベント実施で賑わったが、子供向け遊具や体験型ワークショップの要望もあり、今後の検討課題。</p> <p>【藤岡市】 昨年以上の暖冬だったこともあり、季節商品の動きが鈍かった。</p>
サービスマ	<p>【建設設計】 建築需要は減少傾向が続き、資材価格や労務費は高止まり。新築設計から改修・省エネ設計へのシフトが必要であり、来年4月施行の改正建築基準法等への対応も急務。</p> <p>【温泉旅館】 外国人客の増加や紅葉の見頃、祝日の並びの良さに加えて、宿泊単価等料金改定の見直しで売上は好調。一方、人手不足や12月の団体の忘年会需要低下が依然として懸念。</p> <p>【不動産】 資材高騰や人件費増による建築費・不動産価格の上昇に対し、給与所得の伸び悩みやローン金利上昇で購買意欲が低迷。分譲地や建売住宅の在庫増加が目立つ。</p>
建 設 業	<p>【建設】 建設業者の多くが担う除雪シーズンを前に、オペレーターの高齢化に加え、機械維持が困難な企業が増加。人件費や資材高騰で発注額の増加が予想されるも、件数減少を危惧。</p> <p>【鉄骨工事】 中小案件が少しずつ動き出しているものの大型案件にあまり動きがみられない。図面の遅延や材料費の高騰が依然続いており、利益確保が難しい。</p> <p>【砂利採取】 生産量、出荷量はわずかながら減少。一方で、ダンプカー不足による輸送力低下や設備の老朽化に伴う生産量不足が需要期への懸念要素となっている。</p>
運 輸 業	<p>【一般貨物運送】 運転手不足に伴う車両確保の困難が引き続き深刻化し、近距離輸送が中心となる状況。また、車両の納期長期化や修理費上昇も課題で、燃料油価格激変緩和補助金の縮小がさらなる負担となる見通し。</p>

※本調査は、情報連絡員57人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。